

令和7年度第1回広島市食品ロス削減推進部会 議事要旨

- 1 日時
令和7年7月1日（火） 午後3時～午後4時
- 2 場所
広島市役所本庁舎14階第7会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
伊藤 圭子（部会長）、古森 公人、佐々木 緑、原田 佳子（以上4名）
 - (2) 事務局（市）
環境局次長、環境政策課長、市民局生涯学習課長、市民局消費生活センター消費者政策企画担当課長、健康福祉局地域共生社会推進課課長補佐、健康福祉局保健部参与（事）健康推進課長、経済観光局農政課長、教育委員会健康教育課主任指導主事、教育委員会指導第一課課長補佐、教育委員会指導第二課課長補佐
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
報告 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和6年度実施状況等について
 - (3) 閉会
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴人の人数
0名
- 7 会議資料
 - 〈会議関係〉
 - 令和7年度第1回広島市食品ロス削減推進部会 配席表
 - 広島市食品ロス削減推進部会 委員名簿
 - 〈議事関係〉
 - 資料 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和6年度実施状況等について

8 議事要旨

発言者	発言要旨
伊藤部会長	・ 本日の議事は報告が1件である。事務局から説明をお願いする。
環境政策課長	【(報告) 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和6年度実施状況等について説明】
伊藤部会長	・ 報告の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
佐々木委員	・ 多岐にわたる実施内容で充実していると感じているが、広島市と同程度の人口規模の都市の食品ロス量は、どのくらいなのか。広島市の食品ロス量が全国的に見てどうなのか、比較対象があれば分かりやすい。
環境政策課長	・ 都市によって、食品ロスの推計方法が異なっていることや、組成分析調査を毎年実施していない都市もあり、単純比較できないが、本市と同程度の人口規模の仙台市を例に挙げると、令和元年度の推計値で、家庭系食品ロスが18,000t、事業系が13,000tで合計31,000tである。
佐々木委員	・ 広島市の家庭系食品ロス量はとても少ないことが分かった。 ・ 「ごみ減らそうデー」や食品ロス削減イベント「スマイル!ひろしま広場」は集客があるものだと思うが、これらのイベントの参加者は、イベントを目当てに自主的に来場しているのか、それとも偶然通りがかった通行人を呼び込んでいるのか。
環境政策課長	・ 「ごみ減らそうデー」については、スーパーマーケット等で開催するため、買物目的の市民が参加しているものと思われる。「スマイル!ひろしま広場」については、チラシ配布等の事前の広報を通じて、出展団体の関係者であったり、フードドライブの参加者であったり、イベントを目当てに自主的に来場される方もいるほか、偶然通りがかった市民の参加もどちらもあると考えられる。
佐々木委員	・ サンフレッチェやカープの本拠地などのインパクトのある場所で実施することも市民を呼び込める手だと思うため、こういったものも利用しながら、多くの市民の目に触れるための工夫が重要だと思う。
伊藤部会長	・ 「スマイル!ひろしま広場」のクイズ参加者が約100名増加していることは、自主的に参加した方が増えているといえると思う。
古森委員	・ 「スマイル!ひろしま広場」の開催場所を紙屋町シャレオ中央広場へ変更したことで、参加者が増加しているが、逆にフードドライブの実績が減っていることが気になる。何か理由はあるか。
原田委員	・ フードバンクを運営している立場から思うに、物価高が影響している。フードバンクへの寄附も減少している。
伊藤部会長	・ その他、フードドライブの実績が減った理由はあるか。
環境政策課長	・ 減少理由について、明確には分からないが、原田委員のおっしゃるとおり、物価高の影響もあると思う。本市としては引き続き、フードドライブを広めたいと考えており、今年度は、5月の消費者月間に実施した、消費生活センター主催の「消費者月間イベント」や6月の環境月間に実施した、県主催の「環境の日ひろしま大会」でフードドライブを実施し、その様子についてテレビ局から取材を受けるなど、フードドライブの周知に取り組んでいるところである。
原田委員	・ フードドライブの実績が減少したことが一概に悪いということではなく、市民の食品ロス削減の意識がある程度定着したことで、家庭からの食品ロスが少なくなったと捉えることもできると思う。 ・ 最近は、スーパーマーケットやその他の企業、学校、町内会などもフードドライブを実施しており、フードドライブの広がりを実感している。
伊藤部会長	・ 環境講座の実施回数が減少しているが、理由はあるか。

発言者	発言要旨
環境政策課長	本市ホームページで募集しているが、明確な減少理由を把握するまでには至っていない。講座の開催に当たっては、丁寧な説明を行い、質疑応答等を交えながら、市民に食品ロス削減の取組を実践してもらえるよう努めていきたい。
伊藤部会長	市民が関心を持つような講座内容にしていきたいと思います。
佐々木委員	ホームページやSNSを活用して情報発信しているが、どういった人が閲覧したかの閲覧履歴については把握し、分析しているか。
環境政策課長	閲覧履歴の把握、分析はしていないため、ホームページやSNSの所管課に、閲覧者のデータを把握しているかについて確認してみる。データがあれば、今後、分析をしたいと思う。
佐々木委員	閲覧履歴が確認できると、どんな広報手法がどの世代に効果があるか見えてくると思う。
伊藤部会長	他に質問はないか。ないようであれば、本日の議事は終了する。